

事務事業評価表 平成24年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
 施策 高齢者福祉の充実
 基本事業 地域交流と社会参加の促進

事業名 **福祉バス運行管理経費**

[0216]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成1年度	実施計画事業認定	非対象
課名	福祉課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>高齢者、高齢者クラブ、福祉関係団体</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>無料バスの運行により 福祉関係団体等の研修や事業に利用し参加を容易にする。</p>
手段	
<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>研修及び事業等の参加 (福祉関係団体等)及び福祉センター利用 (高齢者・障がい者)の支援としての無料バスを運行する。</p>	

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	65歳以上高齢者数	人	26,383	27,078	27,827	27,827
対象指標2	高齢者クラブ、福祉関係団体数					
活動指標1	団体利用運行日数 (年間)	日	143	141	147	156
活動指標2	市内定期運行日数 (年間)【H21廃止】	日	44	0		0
成果指標1	団体利用運行に係るバスの延べ利用団体数 (年間)	団体	143	141	147	156
成果指標2	市内定期運行に係るバスの利用者数 (年間)【H21廃止】	人	284	0		0
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	5,911	4,800	5,054	5,433
正職員人件費 (B)		千円	415	403	803	809
総事業費 (A) + (B)		千円	6,326	5,203	5,857	6,242

費用内訳	
23年度	委託料 5,054千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	バス運行の夕鉄バス委託 (H15年度～) に合わせて、利用基準の見直しを行った (親睦的利用が多い高齢者クラブの利用についての上限設定など)。また、総合社会福祉センターの浴室廃止に伴い利用者が減少したことにより、市内定期運行を行っていた2号車を平成21年9月に廃止した。
--------	--	-------------	---

23年度の実績による事業課の評価 (7月時点)

(1) 税金を使って達成する目的 (対象と意図) ですか? 市の役割や守備範囲にあった目的ですか?

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・根拠は?

団体利用運行 (福祉関係団体の利用、高齢者クラブ利用) は、高齢者・障がい者に対する福祉ボランティア活動を支援する意味から、適当である。

(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか?

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・根拠は?

団体運行は、高齢者・障がい者に対する福祉ボランティア活動を支援。

(3) 計画どおりに成果はあがっていますか? 計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか?

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・根拠は?

一定程度の利用があるので、バス運行の成果が上がっている。

(4) 成果が向上する余地 (可能性) は、ありますか? その理由は何ですか?

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・根拠は?

未利用の団体にも、市内、近隣市町村での研修、視察など広く活用してもらうことで、利用の拡大が見込まれる。

(5) 現状の成果を落とさずにコスト (予算 + 所要時間) を削減する新たな方法はありませんか? (受益者負担含む)

- ある
- ない

理由・根拠は?

社協職員による運行を、15年度からは社協管理の下で夕鉄バスに運行委託し人件費を大幅に削減したこと、また、利用が一部団体に偏らないように利用基準の見直しを行ったこと及び、総合社会福祉センターの浴室を廃止したことから利用者減により、2号車を平成21年9月に廃止した。